

調査期間・海域 平成31年3月29日 豊後水道中・南部
調査船 試験船「よしゆう」 * 近年値:3月(2017、2018)・4月(2014-2016)の調査における過去5年間平均

- 1 表面水温および透明度(表1、図1)・・・水温・透明度ともに低め
豊後水道中部(Stn.1~3及びStn.7)および豊後水道南部(Stn.4)の表面水温は、それぞれ16.4~17.9℃(平均17.2℃ 近年値18.1℃)、17.8~18.7℃(平均18.2℃ 近年値19.6℃)で、中部、南部ともに近年値に比べ低かった。
透明度は、中部では10.0~12.5m(平均12.3m 近年値16.9m)、南部では11.0~12.0m(平均11.7m 近年値16.5m)で、近年値に比べ、中部、南部ともに低めであった。
- 2 流れ藻の分布(図1)・・・近年値より少ない
調査時の流れ藻視認個数は3.3個/10マイル(中部2.0個/10マイル、南部6.6個/10マイル)で、近年値2.8個/10マイルを上回った。採取した流れ藻の重量は平均10.0kgで、近年値の13.5kgより小さかった。
- 3 モジャコの採捕状況(表1)・・・モジャコの数は少ない(58尾/調査日数)
調査日数当たりの採捕尾数は合計58尾(中部4尾、南部54尾)で、近年値の190尾を下回った。
流れ藻1kg当たりのモジャコ採捕尾数は0.7尾/kgで、近年値の3.7尾/kgを下回った。モジャコ以外の魚種はメバル112尾、ボラ、メジナ各7尾、アイナメ5尾、マアジ、カエルアンコウ、サギフエ、サバ、ヒラマサ各2尾、イシガキダイ、イスズミ、オヤビッチャ各1尾が採捕された。
- 4 モジャコの大きさ(図2)・・・近年値より大きい
採捕されたモジャコの尾叉長は平均64.8mm(16.9~116.2mm)で近年値の38.9mmより大型であった。

表1 海況及びモジャコの採捕状況

調査項目	海域	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	近年値
		【4/17】	【4/22】	【4/26】	【3/24】	【3/28】	【3/29】	
水温 (°C)	中部	17.8	18.6	19.6	17.3	17.3	17.2	18.1
	南部	19.2	19.7	21.4	19.9	17.9	18.2	19.6
塩分 (psu)	中部	34.6	34.5	34.7	34.8	34.6	34.6	34.6
	南部	34.7	34.6	34.8	34.9	34.5	34.7	34.7
透明度 (m)	中部	15.0	20.0	18.0	19.3	12.3	11.3	16.9
	南部	18.0	18.0	18.2	18.5	9.8	11.7	16.5
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	中部	7.1	2.6	2.6	1.3	0.4	2.0	2.8
	南部	0.0	0.0	0.0	12.5	1.2	6.6	2.7
流れ藻採取数	中部	5	3	3	1	1	1	2.6
	南部	0	0	0	3	3	3	1.2
モジャコ採捕尾数 (調査日数当たり)	中部	77	426	229	0	1	4.0	147
	南部	0	0	0	4	212	54.0	43
流れ藻1kg当たりの モジャコ採捕尾数	中部	4.1	7.5	2.6	0.0	0.1	0.2	2.8
	南部	-	-	-	0.8	5.9	1.0	3.3
モジャコ平均 尾叉長(mm)	中部	47.7	26.8	26.2	-	35.0	90.9	34.0
	南部	-	-	-	46.1	47.6	62.8	46.9

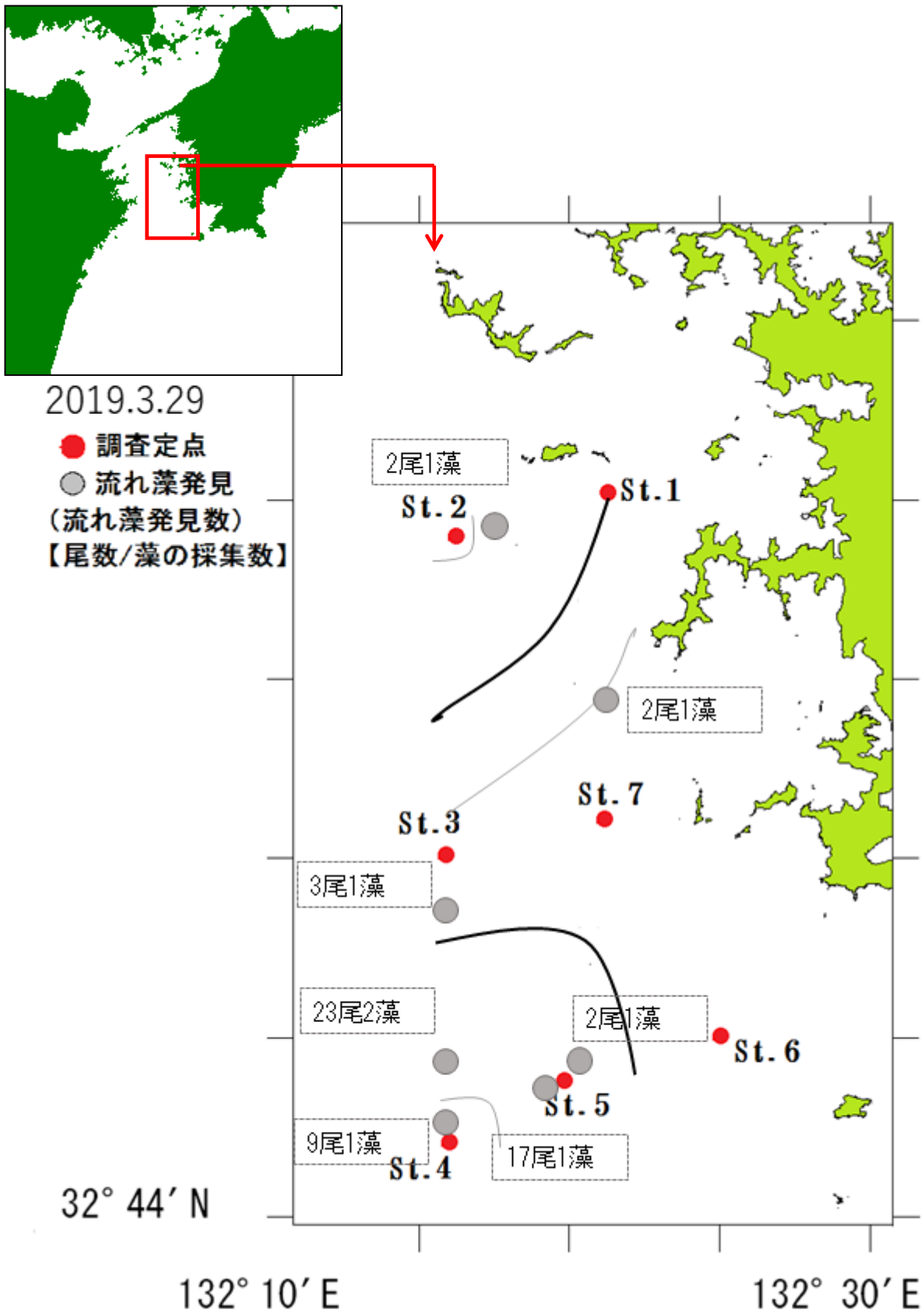


図1 漁場一斉調査(もじゃこ調査)定点図

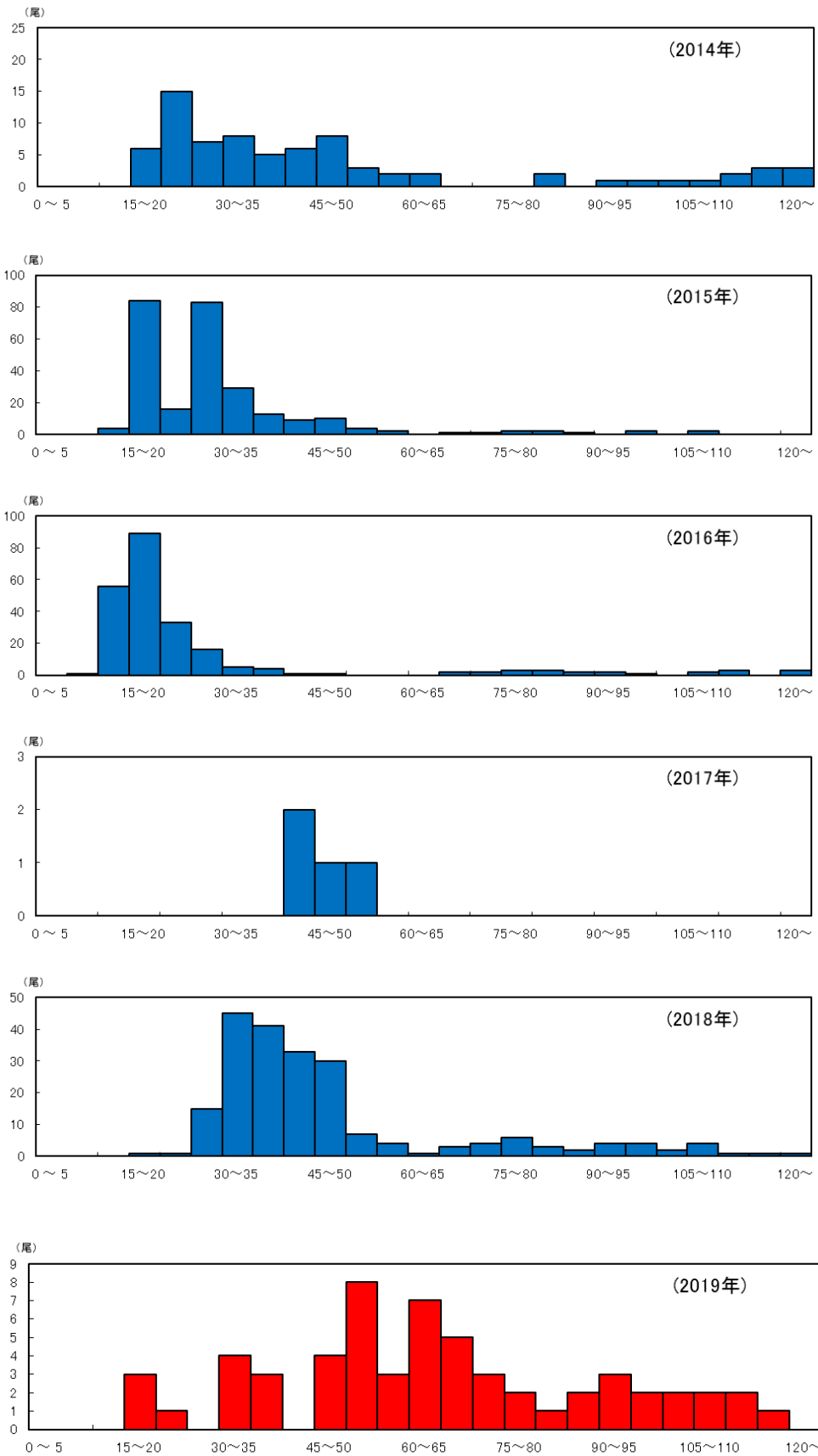


図2 採捕年別モジャコ体長組成